

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の生活歴を尊重し、地域の中でその人らしく暮らし続けるという理念を職員が理解し作り上げようとしている。	○	利用者のニーズに即した理念であるよう、見直しや改善を続けて行きたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスや日々のミーティングに於いて常に運営理念の共有を再確認している。	○	今後も機会あるごとに確認し合い、理念共有を図って行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	施設内に運営理念を掲示し、家族をはじめ来訪者に明示している。説明を求められたときは十分な説明を行うよう心がけている。	○	今後も継続し取り組んで行きたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶や身近な話しを行うなど、日常的な付き合いが出来るよう努めている。又敷地内で散策を行うなど、気軽に立ち寄れる雰囲気作りにも心がけている。	○	より一層馴染みの関係を作れるよう努めて行きたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接施設で行われる行事等には参加してきたが、地域活動への参加は十分な機会を設ける事が出来なかった。	○	今後は地域活動への参加等を検討して行きたい。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>法人が執り行う全体会議等で検討がなされている。</p>	○	<p>利用するご家族等から意見を伺うなどして検討していく。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価については職員が意見を出し合いながら、改めて日頃のサービスの確認、見直しに努めている。</p>	○	<p>評価を活かして改善に取り組んで行きたい。</p>
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ミーティング等で意見交換を行いながら、サービスの向上に活かせるよう検討している。</p>	○	<p>今後も現況の把握と、より良い質の支援へ反映させていきたい。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者と情報共有しながら、課題解決への取り組みを行っている。</p>	○	<p>情報をより一層身近に取り入れたサービスの提供を実施して行きたい。</p>
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>情報を収集し、ミーティングなどを通して話し合う機会を持っている。</p>	○	<p>法人等で執り行う全体会議や研修会等で最新の情報を得る機会を活かしながら、必要な支援提供が出来るようにしたい。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>尊厳・尊重を理解し、身体的虐待や精神的虐待の防止は勿論、特に言葉遣いには細心の注意を払うよう職員に説明している。</p>	○	<p>今後も職員の意識の向上を図って行きたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には十分な時間をかけ丁寧で分かりやすい説明を行っている。また質問しやすい雰囲気づくりに努めている。	○	現状を維持していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	市町村職員の訪問等、意見・不満・苦情の言える環境づくりに努めている。	○	市町村職員からの報告等を職員で共有し、運営に活かしていけるようにしたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	行事等で撮った写真をお渡ししたり、受診後の報告や日常時必要な報告、金銭管理の報告を電話等で行っている。	○	日々の暮らしの様子や施設からの連絡事項等を提供するなど、家族が来訪した機会を活かして、積極的にお伝えしていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族向けにアンケートを実施したり、施設内に意見箱を設けて気軽に投函できるようにしている。	○	現状を維持していく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングやカンファレンス等を通じ意見交換を行い、改善に反映させている。	○	今後も何でも話せる機会を設け、建設的な運営に反映させていきたい。

グループホームまほろば

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	欠勤者等が出た場合には、職員間の話し合いで勤務の調整を図り、必要な職員を充てるよう務めている。	○	現状を維持していく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の配置や異動等は必要に応じて実施しているが、ケア方法が統一されるよう申し送りや体制の調整等に努めている。	○	新しい職員が入ってきても継続されたケアが出来るよう引継ぎ等をしっかりと行っていきたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修を積極的に活用し、可能な限り職員が参加できる機会を設けている。また、ミーティングなどを通じて、研修の伝達等に努めている。	○	今後も研修などへの参加や、カンファレンスなどにおける話し合いを通じ日々の体験を学びにつなげていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会や講習会等に参加している。	○	交流できる機会には積極的に参加していきたい。活動の中からより質の高いサービス提供に向けての学びにしたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員面接等を通じて、職員の状況把握や対応に努めている。	○	職員の親睦会や話を聞く機会をもっと増やしていきたい。

グループホームまほろば

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員からの提案を取り入れるなど、職員自身が積極的に取り込む姿勢や努力を大切にしている。	○	今後も継続していきたい。
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族からの情報を十分に収集するとともに、時間をかけ本人を受け止め、信頼関係を気づく努力をしている。	○	利用に至るまでに本人の不安がないよう、一層の支援に努めたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	十分に時間をかけて受け止める努力をしている。	○	今後も継続して実施して行きたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今その人にとって一番必要な支援は何かを見極める努力をしている。	○	今後も引き続き継続して行きたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族との相談や事前面接を通じ馴染みやすい工夫を考えている。	○	本人の意向等を尊重しながら、段階的に関わりを深めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	同じ目線で共に過ごし学ぶという姿勢を大切にしている。昔の事、畑の事、地域の話、調理の仕方等を一緒に作業しながら教えていただいたり、考えたりしている。	○	一方的な関係にならないよう、共に生活し一緒に過ごして行く場となるよう支援して行きたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	互いに情報を共有し協力し合うことで共に利用者を支えていくパートナーとしての関係を築けるよう努めている。	○	これからも家族との関係の構築に努めて行きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族との交流の機会を設けたり、外出や外泊などを提案する事で、家族とのつながりを尊重している。	○	今後も家族とより良い関係を継続できる支援をして行きたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人、家族等の面会や外出への制限はないため、以前の馴染みの関係の方々が度々訪問してくださっている。また施設からも積極的に案内を行っている。	○	引き続き継続して行きたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士で会話している時などは、その時間を大切にしよう見守りを行っている。また利用者同士が係わり合いを持てるよう、状態を見ながら積極的に声掛けをしている。	○	互いに相手を思い会い支える関係を築けるよう職員が雰囲気作りを進めて行きたい。

グループホームまほろば

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も関わりを希望するご利用者やご家族には、関連施設でのサポートを含め随時相談を受け付けている。	○	今後も家族や利用者が訪れやすい雰囲気をつくって行きたい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の言葉や行動を真剣に受け止め、一人ひとりの希望や意向を把握できるようミーティングやカンファレンスを中心に検討している。	○	利用者本位の視点に立って検討する大切さを、職員間で再度確認して行く。
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者や家族とのふだんの会話や関係の中から把握するよう努めている。又それらの情報をミーティングなどを通じ職員全員が共有するようにしている。	○	得られた情報について、今後のために記録として残していける体制を整えて行きたい。
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ミーティング、カンファレンスなどでの話し合いを通じ現状の把握と情報の共有に努める。	○	出来る事理解出来ることに注目した視点から、利用者の現状を総合的に把握していける方法を検討して行きたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族等が面会に訪れた機会などに現在の状況を伝えると共に、家族の意見や意向を聞き相談しながらケアに反映させている。	○	カンファレンス、ミーティングなどを積極的に活用し、本人にとってなにが必要かを話し合って行きたい。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人や家族、主治医などと話し合い、必要に応じて見直しをしている。	○	暮らしを支えられる介護計画を作成できるよう取り組んでいきたい。
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の他、業務日誌、申し送りノートなどを活用し情報を共有している。	○	更に具体的で分かりやすい記録とし、計画の見直しに活用していきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出や移送のサービス、デイサービス等への行事参加、保育所の子供たちとの交流を通じ柔軟なサービスを行っている。	○	今後もっと活動の場を広げるようにしていきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	派遣職員の訪問や民生委員の方の訪問を通じ情報交換や協力を行っている。	○	今後も地域資源の活用を考えていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	外出が困難な利用者については美容サービス等を取り入れたりしている。	○	必要に応じ本人や家族と相談しながら他のサービスの利用も検討していきたい。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	施設の運営推進会議に、必要に応じて包括支援センターの相談員等に参加してもらうことで協働している。	○	今後も情報交換を活発にする事で、利用者への支援を継続して行きたい。
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前に協力医療機関がかかりつけ医となる事を説明し、同意を得ている。	○	希望があればそれまでの医療機関での受診が出来るよう、必要に応じ支援している。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	法人グループ内の医療機関に専門医がおり、必要に応じて往診や受診するなどの支援を行っている。	○	医療機関との連帯を深めながら支援を継続して行きたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	終末期ケアの方がいるため、直接担当医と連絡を取り指示を仰いでいる。	○	今後も継続して行きたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	グループ法人内の医療関係者も含めて、入院時の医療機関とは情報交換を行っている。	○	入院時には、職員の寄せ書きや、状態を見ながら出来る趣味などをお持ちしたり、励ましている。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族等の希望を聞きながら担当医、法人内関係者と相談、話し合いを重ね方針を決めるように努め、主治医よりこまめに家族に連絡を取って頂いている。	○	可能な限り早期から方針を共有すると共に、状況の変化に合わせた繰り返し話し合いを重ねて行きたい。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日頃より重度や終末期の利用者に対しての対応が可能な事や困難な事あるいは不安な事について職員間で話し合い、担当医に相談している。又法人グループ内でも検討協議している。	○	引き続き医療機関と連帯を図りながら支援して行きたい。又利用者が充実した日々を過ごせるよう、自分たちに出来ることが何かを考えて行きたい。
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	可能な限りの情報を共有すると共に十分時間をかけて話し合いを行っている。	○	より内容の濃い詳細な情報を伝えられるようにしていきたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> <b>1. その人らしい暮らしの支援</b> (1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けや対応を行う様努めている。	○	引き続きミーティングやカンファレンス等の機会を通じ、繰り返し徹底したい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者がなにを希望しているか一人ひとりの生活ペースの中から理解するよう心がけている。	○	勉強会や研修を通してコミュニケーションスキルの向上を目指し、思いや希望を表せるよう積極的に働きかけていきたい。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の日課はあるが、それにとらわれすぎることなく思い思いのペースで過ごせるよう努めている。	○	今後も一人ひとりの生活のリズムを大切に希望に沿えるよう支援して行きたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人ご家族の意向を大切にしている。2ヶ月に1回美容師さんをお願いし本人の希望したスタイルにさせていただいたり一緒に買い物に出かけたりしている。	○	今後も継続して行きたい。
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように季節感を出し旬の食材を利用している。又雰囲気を変え中庭等で食事会やティタイムを楽しんでいる。	○	今後も利用者の方が楽しんでいただける支援を考えて行きたい。
55 ○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食後のコーヒーやお茶など利用者が自宅で過ごしてきたときの習慣が続けられるよう食事内容もできる限り個別に対応している。又行事食にも好みの物を取り入れている。	○	引き続き継続して行きたい。
56 ○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し早目の声掛けやトイレ誘導を心掛けオムツ使用しないように努めている。	○	尊厳を大切にしやすいようにオムツを使用する事がないようにして行きたい。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ある程度の時間は決まっているが本人の希望があれば時間外でも対応している。又入浴を楽しんでいただく為に入浴剤や菖蒲、蓬、みかんの皮などを入れ香りを楽しんでいただいている。	○	話しをしながら、一人ひとりの好みに合わせてゆっくり入浴を楽しんでいただいている。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や状況に応じ、休息を促すなどの支援を行っている。	○	特に食後はゆったりとした時間を過ごせるよう支援している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の今までの生活習慣などを検討しながら掃除や食事の用意、洗濯たたみ、畑で作った野菜の収穫等をして頂いている。又自宅にいた頃の趣味が続けられる環境を整えている。	○	現在も行っているが更に一人ひとりの生活歴や希望に注目し支援して行きたい。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望のある方にはご家族等の同意でお金を所持していただいているが、管理の難しい方には買い物に同行していただき買物を楽しんでいただいている。	○	家族とも相談の上、買物に出かけた場合にはお財布を持っていただき支払いをしていただけるように支援して行きたい。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望や状態を考慮の上、出来るだけ毎日散歩など外出の機会を作っている。車椅子などを利用し、多くの方が屋外で気持ち良く過ごせるよう配慮している。	○	車で出かける際も緑の多い場所を通ったり、野菜の販売をしている所に出かけ季節を感じていただいている。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	春夏秋冬季節にあった計画を作り本人や家族の希望に添って旅行、食事一時帰宅などの支援を行っている。	○	家族と相談しながら個別に対応していきたい。
63 ○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて手紙や電話、時候の挨拶などのやり取りを支援している。	○	今後も継続できるよう配慮して行きたい。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問に関しては制限を設けていない。又居心地良く過ごせるよう、挨拶、お茶の用意など配慮している。	○	写真などを見ていただきホームでの様子を見ていただいている。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。	○	職員の勉強会を開き身体拘束についての理解を深めて行きたい。
66 ○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室への施錠は行っていないが、職員の配置や建物の構造、利用者の状況を考慮の上また施設が国道に面しており交通量が非常に多い為現在は施設の玄関には鍵をかけている。	○	職員間で成るべく鍵をかけないで過ごせるよう話し合っていきたい。職員の多いときは、鍵をかけないときもある。

グループホームまほろば

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者の所在、様子には気を配っている。	○	職員が場所を離れる際声かけ、情報交換している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況に応じて爪切りや塗り薬、裁縫道具など管理できる方には管理していただいている。利用者に応じた管理や保管の方法を常に話し合い決定し職員が理解している。	○	今後も継続していきたい。
69	○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	法人グループ全体としても情報を共有化し対策を講じている。また法人主催の勉強会等にも参加できる機会を設けている。	○	今後も情報の共有化、伝達に努めていきたい。
70	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変すると考えられる方が多くいるので、カンファレンス、ミーティングのときに確認を行っている。	○	今後も継続しながら、安全確保に努めていきたい。
71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	同一敷地内の施設と合同で防災訓練を行っている。	○	地域の方々にも協力していただけるように働きかけていきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	予測できるリスクについては機会あるごとに、ご家族に説明している。	○	今以上に普段からの関係作りに心掛けリスクに対する家族の理解を深めていきたい。また積極的にホームの方針を示していきたい。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、生活のリズムなど情報を報告し合い早期発見に努めている。	○	今後も早期発見に努めたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、副作用、用法、用量については理解している。飲み忘れ、薬が足りているか注意を払っている。また日常の記録を医師に伝え服用調整している。	○	より一層医療機関と連携し支援していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	自然排便を促す為に食べ物、飲み物など工夫している。腸に良い食品や適度な運動を取り入れ予防している。	○	ご家族や主治医と相談しながら行っていきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個別にうがい、義歯洗浄を促し航空内の清潔に勤めている。また週1回いれば洗浄剤を使用している。	○	継続を実施していく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、水分量など注意している。お茶以外の時間にも水分が取れるようにしている。	○	病院とも連携し支援していきたい。

グループホームまほろば

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防としてうがい、手洗い、消毒を実施している。病院より情報を得るとともに法人内の研修会などを通じ理解を深めている。	○	法人内で情報を交換したい策を講じている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具などの衛生管理、調理する人の衛生管理、安全な食材の使用に努めている。	○	継続を実施していく。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに緑のものを置いたり、花を植えたりして親しみやすく暮らしの場所として威圧感が無いよう配慮している。	○	建物の周りにも緑のものを植え、家庭的な雰囲気保てるよう配慮している。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には生け花や観葉植物を置き廊下の壁には季節に合わせた暖簾を飾ったりして落ち着いた空間作りに配慮している。	○	共用空間が暗い為明るい配色のものを飾るなどしているが、蛍光灯もなるべく早く明るいものに換えられるよう法人に協力していただけるよう働きかけていきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間内にソファを置き一人になったり気の合った利用者同士で過ごせるよう工夫している。	○	精神面も考慮し座る場所に気を配っている。

グループホームまほろば

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と相談し居室には以前から使用していた家具や使い慣れた調度品を置いている。</p>	○	<p>花を飾ったり写真を飾ったり本人の好みを大切にしながら環境作りを行っている。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>一人ひとりの状態や反応を見ながら自然に近い換気や空調を心がけ体調の乱れや気分が落ち込まないようにこまめに行っている。</p>	○	<p>継続を実施していく。</p>
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりに合った道具を使用している。</p>	○	<p>ADLの変化に出来るだけ早く対応していきたい。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>不安や混乱を招かないよう環境に配慮し繰り返し説明して不安を取り除くよう一人ひとりの状態に合わせて工夫している。</p>	○	<p>認知度の変化に出来るだけ早く対応していきたい。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダにはいつでも出られるようにし、植物の手入れや水遣り洗濯物を干したり取り込んだり中庭を利用してティーパーティーや食事会を行っている。</p>	○	<p>今後も利用者のニーズに合わせて活用していきたい。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○をつけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームまほろば

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所には○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

認知症の方にとって大切なことは「この場所は安心の場であり、この人は安心を与えてくれる人である」ということです。室内外に緑や季節の花を飾り暖簾や行事などで季節感を出し、潤い、癒し、和み、優しさの溢れる環境の中で心を大切にさせて頂いております。職員は、接遇を大切に、利用者にとって大切にされ、必要とされていると言う心地良い幸せを感じて頂く関わりを大切にしていこう。「安心して暮らせる家庭を提供する」

・認知症予防を含め脳の活性化と転倒予防の為のリハビリ体操や散歩等を日常的に取り入れている。

・ご家族に日常の様子をお知らせするために個々のアルバムや作品集を作り、来られた際にご覧頂いております。ご家族にとっても様子がわかり安心してご利用して頂ける。

・ご家族と情報を共有して利用者を支援させていただくことを大切にしている。・人生の終末期の方々のQOLを改善し、個人を尊重し個人が尊厳を持ち続けられるような支援を心がけている。